



Mitaka Network University's 15th Anniversary Event
三鷹ネットワーク大学開設 15周年記念事業

明日のまちに向かって! Next Stage

ウィズコロナ、ポストコロナ時代の生き方を考える
民学産公による協働の新たなステージに向けて

三鷹ネットワーク大学が開設15周年を迎えた今年度、コロナ禍による未曾有の事態の中で世界は一変しました。節目の事業として、これからの時代を私たちはどう生きるか、どのように社会を変えていけばよいかを会員の大学・研究機関の皆様とともに考え、新たなステージに向けた出発点にしたいと思います。

明日のまちに向かって! Next Stage

プログラム

2月14日(日) 配信開始

会員大学学長ほかによる
オンライン講演 (Youtube 配信)

会員大学の学長や教員によるさまざまな分野や視点から9タイトルの講演を動画でお届けします。

2月21日(日) ライブ配信

10:30 ~ 12:30

※アーカイブ配信あり

記念シンポジウム (オンライン)

登壇者: 杏林大学・国際基督教大学・東京外国語大学・ルーテル学院大学の各学長、国立天文台台長、三鷹市長、三鷹ネットワーク大学推進機構理事長

2月27日(土) ライブ配信

13:30 ~ 17:00

※アーカイブ配信あり

学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020 (オンライン)

会員大学の学生たちが三鷹のまちづくりや未来の地域社会について提案発表します。

※それぞれの「視聴方法」は3ページに記載しています。

配信: 2月28日(日) まで

三鷹ネットワーク大学の
ウェブページでもご案内しています。

<https://www.mitaka-univ.org/15th/>



詳しくは…

三鷹ネットワーク大学

検索



明日のまちへの道を拓く

平成17(2005)年度に開設した三鷹ネットワーク大学は、令和2(2020)年度をもって開設15周年を迎えました。

20の教育・研究機関(正会員)と約60の企業・団体等(賛助会員)が集う「新しいかたちの地域の大学」である三鷹ネットワーク大学は、教育・学習機能、研究・開発機能、窓口・ネットワーク機能を広く地域に提供し、以って市民の生活・知識・経験・交流に資することを目的としています。これだけ多くの大学・研究機関、自治体や地域社会が連携する協働の取組は稀有であり、人生100年時代のモデルともなる存在であると認識し、この15年間、先駆的に道を切り拓いてきました。

今年度は当初より新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい、市民生活はもちろん社会経済に未曾有ともいえる甚大な影響が生じ、いまだ先の見えない状況が続いています。三鷹ネットワーク大学ではいち早く講座のオンライン化など多様な形態による学びの提供やリモートでの研究会開催などの取組を進めてきましたが、これからの世界は、さらに大きな、根本からの変化への対応が迫ってくるものと思われます。こうしたピンチをチャンスと捉え、この15周年を「民学産公」による協働の新たなステージに向けた出発点とし、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を生きる人間の明日のまちに向かって新たな道を拓いていきたいと思ひます。皆様のご理解と一層のご協力をお願いいたします。



特定非営利活動法人
三鷹ネットワーク大学推進機構
理事長 鈴木 典比古



15周年記念シンポジウム【オンライン】 2月21日(日) 10:30～12:30
 当日は、YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。

ウィズコロナ、ポストコロナ時代の生き方を考える
 民学産公による協働の新たなステージに向けて

本シンポジウムでは、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を機に、三鷹ネットワーク大学推進機構理事長はじめ理事の皆様や三鷹市長によりディスカッションを行い、これからの生き方を自身体・大学等のあり方、役割を探ると「民学産公」による協働の新たなステージを考える機会とします。

コーディネーター
 東京外国語大学 学長 林 佳世子
 公防の准女子大学人文科学部 研究科修士課程修了。東京大学人文科学研究所博士課程(専攻 社会学)修了。2019年4月より現職。

パネリスト

 吉村大学 学長 大澤 純一 私理系科系卒業。吉村大学大学院医学研究科精神神経科学専攻博士号取得。2018年4月より現職。	 国際基督教大学 学長 若切 正一郎 東京大学大学院人文科学部専攻修士課程修了。2020年4月より現職。	 ルーテル学院大学 学長 石原 基夫 東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。2020年4月より現職。	 国立天文台 学長 塚田 俊久 東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。宇宙空間科学研究機構宇宙科学研究所長等を歴任。2018年4月より現職。
---	--	---	---

三鷹ネットワーク大学推進機構 理事長 鈴木 典比古
 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。インディアナ大学ブレイクモント校修士課程修了。経営学博士。公立大学法人国際経営大学理事長・学長。元国際経営大学学長。2017年6月より現職の理事長に就任。

三鷹市 市長 河村 孝
 早稲田大学法学部の卒業。1977年4月入職に就任。同会本部部長等を歴任。2019年4月より現職。

学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020 発表・審査会【オンライン】

2月27日(土) 13:30～17:00

三鷹ネットワーク大学の会員大学(吉村大学、国際基督教大学、東京学芸大学、聖徳大学)の学生によるグループが、養老の地域社会や三鷹のまちづくりについての提案をプレゼンテーションします。

優秀賞3組に選ばれたグループは、後日、市長、副市長、教育長の前で発表します。

<審査員>(敬称略)

三鷹市工務局長 岩崎 守利
 みたか都市観光協会理事長 金子 彰
 みたか市民協働ネットワーク代表理事 正満 たつ子
 三鷹市ボランティアセンターセンター長 賀谷 大助
 (株)まちづくり三鷹代表取締役社長 吉田 純夫
 (株)みずほ銀行三鷹支店長 小林 徳也
 NIT情報ネットワーク総合研究所理事・企画部長 大石 哲矢
 三鷹市企画推進課長 窪田 大輔
 三鷹ネットワーク大学理事長 鈴木 典比古

当日は、YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。

民学産公の新たなステージへ
 三鷹市長 河村 孝

三鷹市における長い市民参加と協働の歴史を背景として、15年前、三鷹ネットワーク大学の誕生しました。教育・研究機関を持つ高度な「知」の集積を地域につなげ、市民の「学びの場」「交流の場」として豊かな市民生活の実現をめざす取り組みを続けています。この間、その事業を支えてくださった関係者の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

現在、私たちはコロナ禍の只中にあり、社会、経済、教育をはじめあらゆる面で時代の転換点に立っています。地域社会は、すでに超高齢化や格差の拡大などに直面してきましたが、今後さらに新たな課題が噴出するでしょう。こうした中で何よりも重要なのは、行政と専門家と市民が客観的・科学的なエビデンスを共有し、互いを信頼して率直に議論できるということだと思います。三鷹ネットワーク大学が成熟した市民社会の実現に向けさらに大きな役割を果たし、民学産公の協働の新たなモデルを発信することを期待しています。

会員大学学長ほかによるオンライン講演

会員大学の学長や教員により「ウィズコロナ、ポストコロナ時代をどう生き抜く」を共通テーマにさまざまな分野や視点からの講演を動画配信します。

動画配信
 2月14日(日)～2月28日(日)

「コロナ禍の先にあるもの/建築・都市・まちづくり」
 慶応義塾大学 教授 松岡 拓公雄

東京藝術大学美術学部卒業。同大学院美術研究科修了。府下国立芸術大学建築研究で主に内外のプロジェクトに伊藤アキオ・キョウコ・アキオを設立。共著者。聖徳大学建築学専攻教授(文化)教授。現在(LICアーキテクトゥープ)主宰。2016年聖徳大学都市創造学部教授・学部長に就任。

1960年山口県生まれ。一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。キャリア支援センター所長。経済学部などを歴任。2016年4月学長に就任。専門は、賃借論、金融論、人材開発論。

「中道を生きる(見えるもの、見えないもの)」
 大正大学 学長 高橋 秀裕

東京大学大学院総合文化研究科修士。博士(学術)。大正大学・人間学部教授。評議員。学長補佐。副学長を経て、2019年11月学長に就任。専門分野は、数理学、科学史、科学哲学、科学思想史。

「ポストコロナの超スマート社会を先導する新たな大学像」
 電気通信大学 学長 田野 俊一

工学博士(東京工業大学)。電気通信大学大学院情報理工学系研究科教授。大学院情報理工学研究科教授を経て2020年4月学長に就任。専門は、システム科学、人工知能、自然言語処理、フジイ理論、HCI。

視聴方法

それぞれQRコードからリンクしてご視聴ください。

- オンライン講演
 2/14(日)～2/28(日)
 YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)にてライブ配信します。
 ※アーカイブ配信も行います。(2/28(日)まで)
- 記念シンポジウム
 2/21(日) 10:30～
 YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)にてライブ配信します。
 ※アーカイブ配信も行います。
- 学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020
 2/27(土) 13:30～
 YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)にてライブ配信します。
 ※アーカイブ配信も行います。

詳しくは→ [三鷹ネットワーク大学](#) 検索

「コロナ禍と学校」
 東京学芸大学 学長 園分 亮

東北大学大学院教育学研究科修士前期課程修了。博士(教育学)。東京学芸大学教授。学長。副学長を経て、2020年4月学長に就任。専門は、障害児の心理学、心理学史。教員及び教育支援者へ提供する大学にふさわしい「教育と研究」を追求。

「いつの時代にも持続可能な社会を」
 東京女子大学 特任教授 マリ・クリスティーズ

東京工業大学大学院社会工学部で都市計画。まちづくり、地域と子どもとの関係。地域の活性化等を学ぶ。2018年より東京女子大学現代学専攻でこれからの分野を教えている他、異文化コミュニケーションとしても活躍。

「新型コロナウイルスでみえた保健ガバナンスの課題」
 東京都立大学 教授 院塚 佳代

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。取得学位。博士(学術)。東京大学東洋文化研究所助教授。都立大学東京学専攻心身健康学専攻主任。専門は国際政治学、国際保健論。著書に「国際政治学からの国際保健事業」「人間関係」など。

「ウィズコロナ、ポストコロナ時代に『食』はどう変わる?」
 東京工科大学 学長 千葉 一裕

東京工科大学大学院工学研究科修士課程修了。株式会社ユニバーサル・リサーチ研究所研究員。東京工科大学教授を経て、2017年度学長。専攻分野は、2020年度学長。専攻分野は、農芸化学、生物有機化学、等。農学博士。

「青年の対人恐怖性とスポーツをとおしてのコミュニケーション」
 日本女子体育大学 准教授 三好 昭子

立教大学大学院現代心理学研究科修士課程修士。博士(心理学)。筑波大学大学院・日本学術振興会特別研究員(RP)。専攻分野は、立教大学専任講師を経て現職。専門は教育心理学、青年心理学、生涯発達心理学。

